

全国古民家再生協会岩手第一支部 4 月例会 議事録

記録日:2025 年 4 月 11 日

記録者:菊池 一彦

団体名	一般社団法人全国古民家再生協会岩手第一支部
開催日時	2025 年 4 月 11 日(金)15:00~17:00
開催場所	岩手県民情報交流センター(アイーナ)806 会議室
出席者	菊池一彦、木川田常男、及川晃、藤原正、那須川幹子、中村俊一、大坪雄治、松川章
議事	1.開会宣言 会員 木川田常男 2.宣言文唱和 会員 木川田常男 3.出席者確認 支部長 菊池一彦 8名出席(干泥会員は都合により欠席) 4.支部長挨拶 支部長 菊池一彦 春らしくなってきたが4月に新会員が入会し、さらに 10 月にも加入の予定である。釜石市や建築士会とも連携して空き家相談会を開催するなど、協会の認知度も上がっている。4月16 日に全国古民家再生協会の井上理事長が遠野市に来て市内の空家等へのアドバイスをもらう。市町村では国に補助制度があっても知らないことが多く、制度に精通した井上氏からどのような資金をもってこられるかなど提案がある。 北上市で開催した空き家活用セミナーには 70 名以上の参加者があり、県の小野寺部長も参加していた。小野寺部長も市町村に補助制度の勉強の機会が必要との認識であった。宮城県では協会と県との連携協定を締結しており、小野寺部長の在職中に本県でも実現したい。 また、仙台市で地方議員向けの研修会を予定しており(4/6, 4/8, 4/18)、河野氏が松山からズームで参加する。知り合いの議員がいれば当日の原稿を送信するのでお誘いいただきたい。 5.前回議事録の確認 会員 松川章 「じゃぼとら」配付先(道の駅)について、会員間で再確認した。 6.課題並びに資料の確認 支部長 菊池一彦 7.全国報告事項 支部長 菊池一彦 全国 7-1 2025 年度会費請求に関して 年会費のほかに全国大会参加費(2万円)が上乗せされている。これは過去の大会で地元協会への負担が大きかったことで全会員から強制徴収することにしたもの。 全国 7-2 2025 年度支部総会の開催に関して 全国 7-3 2025 年度理事長就任に関して 熊本県支部の村田智仁氏が就任。 全国 7-4 2025 年度理事改正に関して

	全国 7-5 2026 年度全国大会主管支部決定に関して 福島県支部に決定 全国 7-6 第 2 回空き家甲子園の開催に関して 全国 7-7 第 14 回古民家フォト甲子園の開催に関して 藤原会員が北上市民俗村にて開催すること予定で企画。民俗村担当者と打合せをしているが、日帰りを想定。開催時には他の会員も協力することを確認。 全国 7-8 例会参加者の対応に関して 全国 7-9 例会議事録の提出徹底に関して 全国 7-10 各種スケジュールに関して 全国 7-11 メルマガサービスに関して 全国 7-12 その他 8.支部報告事項 支部 8-1 3 月度事業者会員リフォーム業務報告 支部 8-2 その他(空き家見守りサービスについて) 那須川会員から図案の紹介。空き家の所有者などに関心をもってもらうために「空き家アドバイザー協議会支部」の支部名を入れたい。支部立ち上げの動向や図案の調整などで5月例会に諮る。予算は 2, 3 万円。じゃぼとら 800 部に折込み、全県に配付する。 9.支部協議・審議事項 協議 9-1 空き家アドバイザー協議会の設立進捗確認 ・那須川会員から奥州市、金ヶ崎町での支部設置に向けた状況報告。自治体の対応も見ながらどちらかの地域で設立したいとの意向。一関市は代表候補が辞退し、再度検討中。 ・松川会員から 4/4 の設立説明会の復命。事務局は加盟料、会費(月鵜)があること、会員の年会費を説明。支部長などから設立時の所要額について事例の紹介があった。 ・花巻市で青年会議所 OB が中心となる見込みであるので、菊池支部長から次回例会にオブザーバー参加してもらい、実際の活動については青森県田子町から設立者を呼び、説明してもらうという提案があった。以上の提案を松川会員から関係者に連絡を取り、支部長に伝達すること。 ・ 10 確認事項 確認 10-1 井上氏遠野来遠(4/16) ・遠野市内で活用ができていない施設を回り、国の支援制度の導入について助言をもらう予定。柳田国男ゆかりの高善旅館の活用、民俗村施設を観光客向けの宿泊施設への改装など。当日、井上氏に同行したい会員は事前に報告のこと。 確認 10-2 支部のお花見 ・5/3 遠野市内で予定。参加者は 4/24 までに支部長に報告のこと。
--	---

	確認 10-3 次回例会の開催予定 5/9 アイーナ 808 会議室にて ・10:00～15:30 古民家鑑定士講習 ・16:00～17:00 古民家鑑定士試験 17:00～19:00 例会 11 その他 松川会員から自宅改修に際して 4/6 協会支部からインタビューを受けたことを報告。旧南部藩では希少な武家住宅であり、改修後は文化庁の登録有形文化財の申請を希望している旨、説明があった。 なお、改修にあたり関係者へ次の依頼を明示。 ・設計事務所:耐震強化のため着工前の構造計算の実施。委託契約の遵守。現地確認の上、実施設計図との突合、修正。全国事例の紹介。 ・施工業者:設計事務所と施主との 3 者での現地確認、打合せ。作業工程表の作成、施主への提示。 ・協会:改修前に、会員、一般、花巻市教育委員会、同博物館などへの現地説明会の開催。協会としての標準的な設計、施工の進め方の教示。各種補助制度の提案。 木川田会員からは、いつでも現地視察に対応する旨の発言があった。 12 閉会宣言 16:50 終了
--	--